



目次

第8回定例会について…… 2～4

ズバリ! 村政を質す…… 5～11

常任委員会審議報告…… 12

議会活動報告…… 13～14

議会だより

12月議会



新年のご挨拶

北塩原村議会議長

小椋 眞



新年あけましておめでとうございます。
村民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は平成が終わり、令和の新たな時代が始まりましたが、台風19号など各地で様々な災害が発生した年でもありました。また、近隣諸国との経済問題や消費税増税などがあり、内外共に様々な課題があり今後解決に導くことを期待しております。

村議会としては、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、むらづくりの主役は村民の皆様であることを第一に、住んで良かったと思えるむらづくりの実現に向けて、努力して参りたいと考えております。

村民の皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げますとともに、今後もより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



第8回 定例会

あらまし

会議に付した議案と審議結果

議案番号	件名	議決日	結 果
議案第67号	会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例	元.12.11	原案可決
議案第68号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	//	//
議案第69号	北塩原村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	//	//
議案第70号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	//	//
議案第71号	令和元年度北塩原村一般会計補正予算(第4号)	//	//
議案第72号	令和元年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計補正予算(第2号)	//	//
議案第73号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	//	同 意
議案第74号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	//	//
議案第75号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	//	原案可決
議案第76号	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	//	//
議案第77号	令和元年度北塩原村一般会計補正予算(第5号)	//	//

令和元年第8回定例会が12月6日から11日まで6日間の会期で行われた。1日目は村長から村政の報告と議案の提案理由、また各議案の説明が行われた。4日目から5日目まで合計6名の議員の一般質問が行われ、村政を質した。5日目の午後から各常任委員会に分かれ集中的に審議を行い、6日目に追加議案も含め合計11の議案の質疑・討論・採決が行われ、原案可決9件、同意2件となった。

一般会計補正予算(第4号)の主な補正額 (単位：千円)

事業名	当初予算額	補正額	補正後の額
社会福祉施設等 空調設備設置工事業	24,824	▲4,906	19,918
除雪対策事業	120,055	▲13,250	106,805

会計年度任用職員に関する条例を可決！

会計年度任用職員に関する条例 説明

2020年4月より地方公務員法及び地方自治法の一部改正法が施行されるのに伴い、関係条例が提案され可決しました。

この条例は、地方公共団体における行政需要の多様化に対応し、公務の能率的かつ適正な運営を推進するため地方公務員の臨時・非常勤職員について、任用等に関する要件の厳格化を図るとともに、移行について規定を整備するものです。

議案第67号

会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例

【問】池田 睦宏議員

膨大な業務量に対応するために増員ということだと認識しているが、職員の人たちの業務の効率化に取り組んでいるのか。また、各課で職員の業務の進捗や、処理能力の把握などが適切に行われているのか伺う。

【答】（総務企画課長）

各課の業務が増える時期は異なりますが、通年を通して効率化を図っております。また、各課で週一回打ち合わせを行い業務量の把握・調整を行っています。

議案第71号

一般会計補正予算質疑

除雪車購入費について

【問】蟹巻 尚武議員

除雪対策費の除雪車購入費用について、減額が1325万円とあるが、あまりに大きすぎるのではないか。

【答】（建設課長）

村で作成した概算設計書をもとに適正に入札を行った結果の金額です。

【問】蟹巻 尚武議員

それにしても額の差が大きすぎるのはなぜか。

【答】（建設課長）

国土交通省仕様の車両となり、それを元に見積を作成しましたが、このような額となりました。

【問】若林 幸子議員

初めて除雪車を買うわけでもないのに、なぜこんな差額がでるのか。

【答】（建設課長）

国庫補助事業を使うため、その仕様・計算にのっとり算出した額で、入札した結果、落札額が大きく下回ったためこのような結果となりました。

ミニローダーの効率的な運用を!!

【問】池田 睦宏議員

ミニローダーは、なぜ限定的な使用のためだけに買ったのか。高齢者のための除雪や村内の他の除雪車として使用はしないのか。

【答】（商工観光課長）

前の契約先であった休暇村サービスは機材

を持っていたため除雪できませんでした。エコツアーリズム協会では機材が無いため購入し、この施設周辺の除雪のために配備します。

【問】佐藤 善博議員

エコツアーリズム協会との契約額で休暇村サービスへ相談していれば引き続き管理を頼めたのではないか。

【答】（商工観光課長）

休暇村サービスは事業再編に伴い継続してお使いできなくなりました。たことから公募した結果、エコツアーリズム協会へお願いすることとなりました。



【問】若林 幸子 議員

施設ごとで除雪設備に差があるのは納得ができない。配置場所を変え効率的な運用を図るべきではないか。

【答】（商工観光課長）

他の除雪のためにも、合同庁舎が裏磐梯除雪ステーションに変更します。

デイスタービスセンターの冷房設備について

【問】若林 幸子 議員

社会福祉施設費でも約500万円の減額の補正が出ているが、なぜこんなに差があるのか。

【答】（住民課長）

エアコン設置のためのキュービクル工事が必要なかった事、また、エアコンのグレードを見直した事などで、安く設置する事ができました。



合宿利用者
支援事業について

【問】蟹巻 尚武 議員

合宿利用者支援事業の補助金について、これからの冬季間に、さらに誘客する意思があるのならもっと予算を確保するべきではないか。

【答】（商工観光課長）

観光客に来ていただきたいという思いはありますが、今のところ追加の予定はありません。

議案第73・74号

固定資産評価審査委員会
委員の選任について

○委員

小椋 敏廣氏（早稲沢）



樟山 裕康氏（北山）



○審議結果
同意

固定資産評価

審査委員会とは

市町村に置かれる行政委員会で、法律の定めにより、独立した中立的・専門的な立場から固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定等を行う。

委員は村長が選任し、議会の同意を得る。任期は3年である。

議会傍聴にお越しください！



次回定例会は 3月6日 開会予定です。

議会は皆さんの生活に寄り添い、皆さんの声を村へ反映する議決機関です。
村のこれからが見える議会傍聴にぜひ足をお運びください。

お問い合わせは議会事務局まで。

TEL：(23) 3263 FAX：(25) 7358

HP アドレス：http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/



- 1 伊藤 敏英 議員 6
○人口減少対策について
○防災対策について
- 2 佐藤 善博 議員 7
○中学生台湾派遣事業について
○魅力あふれる観光と農業の村づくりについて
- 3 若林 幸子 議員 8
○公共交通関係について
○情報網整備について
- 4 伊関 明子 議員 9
○桧原・裏磐梯での期日前投票について
○防災・減災対策について
○クマ・イノシシ・サルの被害と危険について
○子供の教育・スポーツに使う予算等について
- 5 小椋 元 議員 10
○健康増進施設「ラビスパ裏磐梯」について
○遊歩道、登山道の整備計画について
- 6 遠藤 祐一 議員 11
○これからの農業後継者及び担い手不足について
○村長の任期満了に伴い政治姿勢について

ズバリ!!

村政を質す!!

6人の議員が一般質問

一般質問とは？

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

Q. 村指定の避難所は、避難所としてきちんと機能するのか！

A. 公共施設の適正な管理という事も含めて確認していく



伊藤 敏英

人口減少対策について

問 小椋村長就任当初は3406人いた人口が、今年の11月1日現在では2710人と、11年で696人も減らしているわけだが、村はどう理解しているか。

答（総務企画課長）

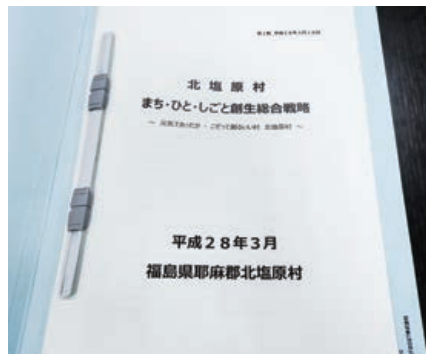
人口減少に歯止めをかけたいという目標を掲げておりましたが、歯止めをかけられなかった結果だと認識しております。

問 県でも人口ビジョンの下方修正をしたわけだが、このままでは2000人も下回り、単独の村として生き残っていないのか村長の考えを伺う。

答（村長）

2000人を割らないよう色々な施策を講じ努力してまいります。が、下方修正もありうる

ということでご理解いただきたいと思います。



問 村の第一期の総合戦略は人口減少対策に重点を置いていたと思うが、この計画をやりきれば減少に歯止めをかけられるという思いはあったのか。

答（総務企画課長）

総合戦略の大きな特徴は、第一に、四つの基本目標を掲げ、第二に様々な方々のご意見を聞いて計画し、第三に実施して評価する。そして実行につなげていき、この管理を行う。この三つが大きな特徴だというふうに思っております。

しました。三つのことが達成できれば、人口減少に歯止めがかかるという認識でした。

問 私も創生会議の委員であったが、検証作業をやった記憶がないが検証は行ったのか。

答（総務企画課長）

創生会議の方々に検証をしていただく機会を作ることが出来なかった状況です。

防災対策について

問 裏磐梯で防災講演会が実施され、緊急時の対応を考える人が多くなってきたと思うが、今後、北山や大塩などでも開催し、防災意識を高めるべきではないか。

答（住民課長）

来年度以降には、北山地区・大塩地区で開催していきながら地域の防災力を高めていきたいと考えています。

問 他の自治体では、民間の宿泊施設や店舗と物資の協定を結んでいるところがあるが村では協定を結んでいるところはるか。

答（住民課長）

現在、民間企業との協定を結んでいるところはありません。村でも課題と考えており、村内の事業者と災害があった場合に対応できるような関係を築いていきたいと思っています。



佐藤 善博



Q. 村内で村の農作物が流通するように もっと取り組むべきである！

A. 農業と観光を合わせながら 強化していきたい

中学生台湾派遣 事業について

問 中学生台湾派遣事業について、なぜ派遣するのか、また、何を学んでほしいと考えているのか。

答（総務企画課長）
外国の文化に触れ、現地の中学生と交流を通して国際的な感覚を養い、視野を広げてもらう事を目的としています。

問 各学校に担当者などが向いて生徒に説明などを行ったりしているのか。また負担についてはどうなっているのか。

答（総務企画課長）
担当が学校へ出向き、スライド等を使い理解を深めてもらうと共に、事業へ参加してもらいます。費用は一人3万円となっておりま

問 今後、台湾からの受入れについて村としての考えや先方との取り決めなど計画を伺う。

答（総務企画課長）
相互に行き来する状況になりましたら、経費負担のルールを話し合うということが必要になるかと思っています。現在、相互という形まで取れておりませんので、その事業ごとに判断している状況です。

問 この事業を、生徒が全員参加できるように修学旅行として実施するべきと考えるが考えを伺う。

答（教育長）
修学旅行については、教育課程の一環であり校長が決定を行っていただきますので村の決定に委ねることは難しいかと考えております。

魅力あふれる観光 と農業の村づくり について

問 村長が掲げた目標で、裏磐梯ブランドの連携・強化とあるが、誰と連携するのか。特異な地産地消、自給圏とはどのようなことを言うのか。その成果も伺う。

答（農林課長）
裏磐梯ブランドとは美しい自然景観、豊かな農地、歴史文化など全てを総称したもので、農業と観光の連携を図りながら、村内の施設で消費を図っていくという考えです。

問 村内の生産物で、村内で消費されているものはどれぐらいあるのか。

答（農林課長）
地産地消の実績ですが、農産物直売所、道の駅裏磐梯の平成30

年度の販売実績は集荷農家70戸で売上額は4100万円程度ですが、農家と観光施設の実績は、つかんでおりません。

問 道の駅では生産者にも消費者にも遠いと思われる。裏磐梯の物産館には空きスペースもあるのですが、そこで販売してみようか。

答（村長）
他のテナントとの調整をしながら今後検討してまいりたいと思います。



Q. 早々に公共交通機関検討委員会を開き村民の声を聴くべきである！

A. 地域公共交通会議へ移行し、各所の代表を集め意見を聞きたい



若林 幸子

公共交通関係について

問 今年度、地域公共交通検討委員会が開催されていないがなぜか伺う。

答（住民課長）

検討委員会は法的根拠をもつ地域公共交通会議に拡充するために準備を進め、1月に開催する予定です。

問 ダイヤ改正に保護者等の意見を取り入れていくべきと考えるが、村の考えを伺う。

答（住民課長）

ダイヤ改正はJR磐越西線の乗り継ぎを考慮しながら、改正案を元に村内の小中学校や喜多方市内の高校の始業時間等に影響のないように調整を行っております。

問 ダイヤ改正に問題がなければ保護者から声は上がらないはずである。改正の検討にも保護者等の意見を取り入れるべきはないか。

答（住民課長）

ダイヤ改正については、その都度、学校や関係者と確認を取りながら改正を行っております。

問 もっと村民の立場に立って考えてもらいたい。バスが不便で免許返納もできない一人暮らしのお年寄りもいる。早稲沢からお医者さんに行っている方や、また、小野川の方も不便であるとの声もあるが考えを伺う。

答（総務企画課長）

新たに設置される委員会です。村全体の公共交通網をどう形成していくかを議論していく形となります。

問 デマンドバスについて実施する考えはあるか。

答（住民課長）

適時利用ができる反面、導入を考えると様々な検討課題があるので、地域公共交通会議での議論を踏まえて検討していきたいと考えております。

問 コミュニティバスについて、緊急連絡網は整備されているか。

答（住民課長）

路線バス運行業者、コミュニティバスのドライバーと連絡を取れる体制を構築しております。



問 村内におけるWi-Fiの設置状況について伺う。また今後の整備計画についても伺う。

答（総務企画課長）

村内16の施設にWi-Fi環境を整備したところがあります。一般家庭への整備は考えておりません。

問 村長が3期目の選挙の際に選挙公約で各家庭に整備するという内容を聞いた村民がいたようであるがこれは事実か。

答（村長）

公共施設について、Wi-Fiを導入し整備しました。各事業所や個人の利用については個々で導入をしていただきたいと考えております。

情報網整備について

伊関
明子

Q. 運動会や文化祭の地域負担をなくすべきである！

A. 少しでも負担いただきながら運営していきたい

桧原・裏磐梯での期 日前投票について

問 桧原、裏磐梯での期日前投票について、11月10日の県議会議員選挙の結果と今後の考えを伺う。

答（総務企画課長）

結果は、11月4日と5日の2日間開設し、合計85名の方が投票を行いました。今後の開設については、投票事務の確実な執行、投票しやすい環境など考慮し、選挙ごとに選挙管理委員会で決定されます。

問 観光シーズンなど重なる場合、投票に行けない人が出てくると思われる。期日前投票については、今後裏磐梯だけではなく大塩でも実施すべきだと思うが考えを伺う。

答（総務企画課長）

検証するには時期尚早であるということで、今後も継続する方向で、選挙ごとに判断していく事になるかと思っています。

防災・減災対策に ついて

問 防災・減災対策について、6月、9月と質問したが、その後の進捗状況と役割分担の見通しの状況を伺う。

答（住民課長）

その後の取り組みとして、防災講演会を開催しました。そこでの意見などを踏まえマニュアルを作成していきます。役割分担については、民間、地域住民など相互に理解を深めながら丁寧に調整して行きます。

問 防災講演会・ワークショップを開催し、住民の意見を聞いたところかと思うが、どのような課題があると考えるか。

答（住民課長）

地域の高齢者や障害がある方の避難に対して、どのような地域で守っていくかという事があると思います。様々な人の連

携が必要であり、地域の防災力を高める必要があります。

問 消防団の装備について、冬季などを考えるともっと装備を充実させるべきではないのか。

答（住民課長）

消防団の予算要望については、消防団の中で優先順位を付けながら、緊急性の高いものを要望いただいています。

クマ・イノシシ・サルの被害と危険について

問 有害鳥獣について、子供や村民への講習を実施する予定はあるか伺う。

答（教育課長）

裏磐梯小学校では大学の先生をお招きし、クマに関わる講演会を実施いたしました。新年度には、村で有害鳥獣対策の専門職員を採用する計画なので、講習会などを学校とともに計画してまいりたいと思います。

子供の教育・スポーツに使う予算等について

問 駅伝の練習や大会に参加するための父兄の送迎の負担が大きいようである。村でマイクロバスなどを出すなど送迎を実施する考えはあるか。

答（公民館長）

大会参加には村のマイクロバス等で送迎しております。練習の参加には、ご父兄で送迎していただき、都合が合わない場合には指導スタッフ等が送迎する形で実施し、今後もあり負担のないようにしてまいります。



Q. 赤字を続けるラビスパ裏磐梯を 今後も続けるのか！

A. 村民の健康増進や雇用確保のため 継続していく



小
原
元

健康増進施設 「ラビスパ裏磐梯」について

問 ラビスパ裏磐梯が出来て23年が経っているが赤字になった年はあるのか伺う。

答（総務企画課長）

平成16年から30年まで2回、単体で赤字になっています。

問 建設に28億円かけたというが、23年たって改善策もまともになく続けていくのは村民の負担になるばかりではないか。どれぐらいの村民が利用しているのか。

答（総務企画課長）

このラビスパ裏磐梯の掲げた目標というのが三つあり、それぞれ達成していると考えております。村民利用率については、5%から7%の村民が利用しています。



問 利用者が少ないうえこれから修理費が益々かかって来ると思われる、このままでは破綻してしまうのではないか。

答（村長）

人口からしてみれば入館客が多く村民の健康増進に役立っているものと考えます。また、裏磐梯では学校のプールが十分に使えないため、そのためにも大切な施設というふうに思っています。

登山道・遊歩道の 整備計画について

問 細野の遊歩道は、まだ工事しているようだが、来年の春から通れるようになる計画はあるのか。

答（商工観光課長）

野鳥の森探勝路については、県で工事を発注しており、今年度発注した80メートルの工事は終わりますが、その後の工事もあり、まだ通行止めの解除にならないと思います。

問 早稲沢から西大巔に布滝から行く登山道があるが、どこが管理しているものか。

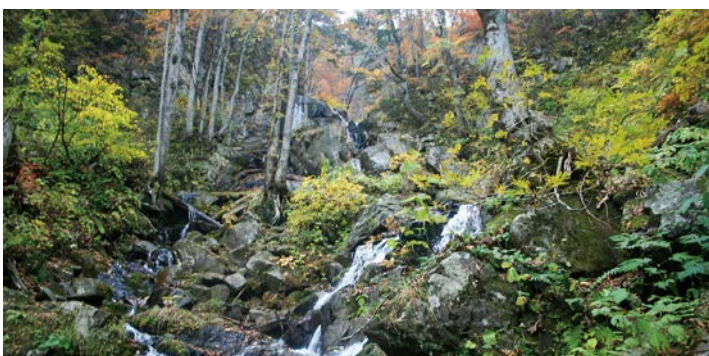
答（商工観光課長）

土地は国有地内で、村で管理しておりません。

問 早稲沢浜から金山の探勝路は今後どうするのか。

答（商工観光課長）

地元の方や関係機関の皆さまのご意見を伺いながら、引き続き検討していきたいと思っております。



遠藤 祐一



Q. 農業公社設立の進捗は

A. 次年度中に設置を目標としている

これからの農業後継者及び担い手不足について

問 農業従事者において、これからますます高齢化により離農傾向が予想される中、当局としてどのような考えを持っているか伺う。

答（農林課長）

農業従事者は減少傾向、高齢化が進行しており、新たな担い手を確保することが喫緊の課題です。村では国の事業などを活用し、新規就農者支援対策を継続して取り組んでいます。

問 ここ5年から10年後を見据えたときに、農業を委託できる方、そして担い手不足が発生する可能性が大きい。そのための施策をもう少し具体的に伺う。

答（農林課長）

担い手の農家で、受委託というのは、厳しい状況が訪れてくると思われ、その担い手の機能を持った農業

公社の設立に向けて進めております。

問 新規農業者の取り組みは当村から発掘していくのか、それとも他村から呼ぶのか考えを伺う。

答（農林課長）

基本は村内の農家の息子さんなどが理想ですが、農地を守る観点からも、他村からの農作業する方も入ってきており、村外からの方へ支援も今後も、継続していきたく考えております。

問 農業従事者が集まり会社を興したくなるようなそんな魅力のある環境づくりが必要と考えるが伺う。

答（農林課長）

魅力ある農業については、新規就農者にもできるだけバックアップできる体制を整えていき、収入を得るためにも、農産物のPRなど継続的にやっていきたいと考えております。

問 農業公社が設置され、自立していくためには、10年、20年かかると思われるが、県内か近隣市町村において、自立できているような公社を把握しているか。

答（農林課長）

数は把握できていませんが、東京農大より推薦のあった3社で研修を行ってきました。近隣では、昭和村の公社へ研修に行き、また、湯川村では、公社が設立され、下郷町でも今後設立されると聞いております。

問 公社が自立するまでどれぐらいの期間と支援の金額を見込んでいるのか。

答（農林課長）

最初の10年間は支援が必要かと考えており、設立には1000万円程度必要かと考えます。また、その後の経営には5000万円程度出資金が必要になるのではないかと考えております。

村長の任期満了に伴い政治姿勢について

問 3期12年における政治施策の実績のもと、9月任期満了に伴い、再出馬を望むところであるが、その意志を伺う。

答（村長）

9月の任期満了による再選の出馬につきましては、今まで私を支えていただいたておりました方々や、後援会の皆さま方のご意見やご教示を拝聴しながら、時期をみて判断したいと考えております。

問 決断の時期は3月になるのか、6月になるのか伺う。

答（村長）

後援会の皆さんとか、支持者の皆さんとお話しなければならぬ部分がありそうですが、早ければ3月、それ以降であれば6月ころになると思います。

常任委員会の審議内容について

北塩原村議会では定例会の会期中に2つの常任委員会「総務文教常任委員会」「経済厚生常任委員会」に分かれ、本会議で付託された議案・請願などを審査し、村政の諸問題について協議を行います。

常任委員会は、議案等を詳しく審査するために設置されています。条例により議員は必ず一つの委員会に所属します。北塩原村議会では各定例会の会期中に常任委員会を開催します。

総務文教常任委員会 委員長 若林 幸子

○審議された内容（一部抜粋）

・会計年度任用職員制度について

Q 年次有給休暇の取得条件は？

A 6カ月以上勤務の方になります。忌引や病気の場合はその都度取得できます。

・一般会計補正予算について

Q 予算減額の金額があまりにも大きすぎるのではないか。

A 理由についてはそれぞれあるかと思しますので確認します。

・一般質問からの内容について

Q 昨日の一般質問で、振興計画のコンサル料が無料と回答があったが事実か。

A 振興計画のコンサルタントは無料です。まち・ひと・しごと創生総合戦略事業については有料です。

・情報機器の処分について

Q 世間ではハードディスクの処分が問題となっているが当村では大丈夫か。

A 会津の他の自治体も契約している会社に依頼していますが問題ないかと思えます。

経済厚生常任委員会 委員長 佐藤 善博

○付託案件についての審議

『看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める陳情』

○委員会での意見

・安定した雇用環境が必要かと思われる

・企業の雇用に関わるので判断は難しい

委員会での決定

『趣旨採択』

○審議された主な内容（一部抜粋）

・印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

Q 外国人がニックネームなどで印鑑登録しようとした場合はどうなるか。

A あくまで住民票に記載されている内容でしか登録できません。

・一般会計補正予算について

Q 合宿誘致の補助金ですでに300万円の予算から、さらに増額となっているがなぜか。

A 30年度の実績を新たに含めた場合に、不足する恐れがあるため増額をお願いしました。

陳情第11号

看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める陳情

○陳情者

福島県医療労働組合連合会
執行委員長 高橋 勝行

○付託先委員会

経済厚生常任委員会

○審議結果

趣旨採択

陳情・請願

審議結果の種類

陳情・請願の審議結果は、基本的には「採択」または「不採択」の2種類に分けられるが、願意は十分理解できるが、当分の間は実現することが困難である場合等に、趣旨には賛成という意味で議決する決定方法のことを「趣旨採択」とし、議決に加えている。

台湾議員視察研修

村議会では、11月21日から24日までの4日間、台湾の交流先である南投県魚池郷を中心に、お世話になった関係機関などへ訪問をしました。

魚池郷では、中学生の訪問先を視察、また、台中にある草屯鎮では、草屯中学校や県の教育委員

各地では、現地ならではの熱烈的な歓迎共に、交流事業について意見を交わすことが出来ました。

今後、交流事業もますます発展していくことと思います。

主な訪問先

魚池郷(中学生交流事業訪問先)
草屯鎮公所、草屯中学校、工藝
研修中心、南投县政府教育処

※台湾の地名について

『鎮』は町『郷』は村の集合体を表しています。



日月潭湖畔の記念碑にて



草屯中学校訪問の様子



南投县政府教育処の様子



草屯鎮長(簡景賢氏)・小椋議長

議会広報調査特別委員会 所管事務調査



議会広報調査特別委員会では、令和元年10月23日に所管事務調査を実施し、宮城県川崎町議会へ訪問しました。

川崎町議会では眞壁範幸議長をはじめ、広聴・広報委員会・眞幡善次委員長と委員会の議員のみなさまに参加いただき、川崎町議会の取り組みについて伺う事ができました。

川崎町議会は全国広報コンクールにおいて毎年入賞し、昨年度（平成30年度）には準優勝をするなど、広報制作に非常に力を入れている議会です。

制作には、レイアウトから委員が考え、興味を持ってもらえる広報誌を制作しているとのことでした。また、住民の声を多く載せることにより親しみを持ってもらえるように取り組んでいるとの事です。

私たちも、視察の成果を今後の広報誌に取り入れ、村民目線で制作していきたいと思えます。



議場で説明が行われた



眞壁 範幸 川崎町議会議員

編集委員

委員長 伊藤 敏英
副委員長 若林 幸子
委員 遠藤 祐一
委員 池田 睦宏
委員 小椋 真

『編集後記』

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

この「議会だより」も新体制となり3度目の発行となりました。昨年は視察研修を通し、改めて村民目線で皆様に親しまれるような広報作りの大切さを学んだ所でもあります。

今後も、委員一同皆様方により親しまれる「議会だより」を目指し、制作していきたいと思えます。

委員一同